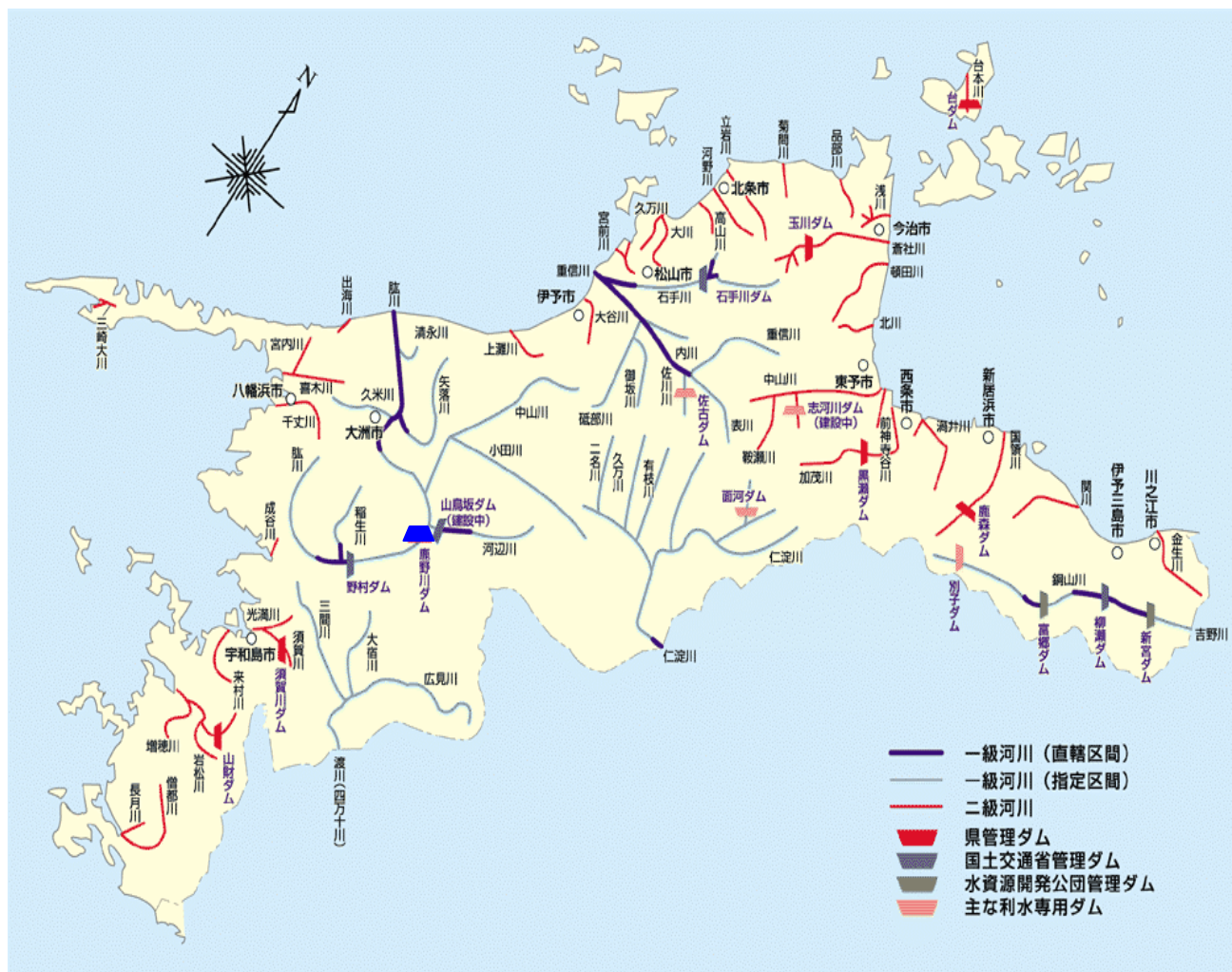


## 2.愛媛の河川

愛媛県の河川は、平成18年4月1日現在、一級河川が745河川で総延長は約1,951km、二級河川が411河川の約1,247km、合計1,156河川の3,198kmに及んでいます。また、この他に、河川法が準用される河川が111河川あります。

これらの河川の多くは、地形上流路が狭く急流で、たび重なる土砂の流出により天井川を形成し、豪雨の際には流量が急増し、堤防・護岸等の決壊や氾濫による浸水被害がたびたび発生しています。



東予では、別子連峰に源を発する一級河川吉野川水系銅山川が法皇山脈の南側を東流し徳島県に至っています。また、法皇山脈、四国山地を分水嶺として北流し燧灘に注ぐ中小河川は短流のため急流河川が多く、高縄半島及び島しょ部は花崗岩質のため大部分の川が天井川となっています。

中予では、石鎚山系に源を発し南斜面の中央山間部を南流する一級河川仁淀川水系と、北斜面を流下し県中央部の道後平野を西流する一級河川重信川水系の河川及び中小河川が西または北西に流下し、伊予灘に注いでいます。

南予には、宇和盆地に源を発し大洲平野を貫流して伊予灘に注ぐ本県最大の一級河川肱川水系の河川と、高知県西南部を流れ太平洋に注ぐ一級河川渡川水系の上流支川等の河川があります。